

日本経済史研究所の紹介

日本経済史研究所は、世界の中の日本、アジアの中の日本という広い視野を大切にし、経済史研究にとって有意義な史資料の収集、多様な学術情報の公開、講演会の実施などを通して、経済史研究の発展への貢献、経済史研究と社会との関係の深化を目指しています。

1. 研究所の沿革

1926（大正15）年4月、京都帝国大学経済学部において本庄栄治郎教授の日本経済史演習が開始され、農学部の黒正巖教授、彦根高商の菅野和太郎教授も参加しました。黒羽兵治郎氏ら演習参加学生も含めたこの集まりは、やがて経済史談話会、京都経済史研究会へと発展しました。1929（昭和4）年7月、本庄・黒正・菅野・同志社大学教授吉川秀造・大蔵省嘱託松好貞夫の5氏を委員として経済史研究会が組織され、11月から月刊誌『経済史研究』の刊行を始めました。同じ年にフランスではアナル学派の『社会経済史年報』が出され、1927（昭和2）年にはイギリスで『経済史評論』が創刊されています。経済史研究会と『経済史研究』は、まさに国際的な社会経済史研究興隆の一翼を担ったといえるでしょう。

1932（昭和7）年12月、日本経済史研究所設立のために協議会が開かれました。大阪経済大学の前身である昭和高等商業学校の初代校長であった黒正巖博士は、私財を投じて京都帝国大学農学部隣接の土地約300坪を購入し、研究所の建設にとりかかりました。1933（昭和8）年5月15日に晴れて開所式が行われ、代表理事には本庄氏が就任し、理事として黒正・菅野・中村直勝氏が名を連ねました。

研究所は幅広い事業活動を行い、全国にその名が知られるところとなりましたが、第二次世界大戦の激化によって活動は困難となり、『経済史研究』も1945（昭和20）年1月で終刊を余儀なくされました。

1948（昭和23）年、研究所の図書は新制大学設置のため大阪経済専門学校に移管されました。翌1949（昭和24）年大阪経済大学が発足し、黒正巖博士が学長に就任しましたが、同年9月に急逝し、研究所の再開は宙に浮いたままとなりました。しかし、本庄、吉川、江頭恒治、堀江保蔵、黒羽、宮本又次、三橋時雄の各氏らの努力により研究活動は続けられました。

そして、1959（昭和34）年頃から大阪経済大学日本経済史研究所として活動が再開されました。その後、歴代所長、研究所員、職員の熱意と尽力によって、経済史研究会の再開、『経済史研究』の復刊、『経済史文献解題』のデータベース作成、一般向け講演会など、多様な活動が行われるようになり、現在に至っています。

2. 史資料の収集・整理

本研究所は、歴史研究と関わりのある図書、雑誌、古文書を中心とする史資料の収集と整理を、最も重要な活動の一つに位置づけています。最新の出版情報や古書市場の動向の把握

に努めるほか、史資料寄贈受入の依頼にも積極的に対応し、研究環境の充実を図っています。本研究所が所蔵する図書は、19世紀半ば以降に出版された日本語の文献が多くを占めますが、欧文やアジア言語の文献も少なくありません。経済史に関するものだけでなく、社会史、政治史、文化史を主題とする文献も多数所蔵しています。

3. 経済史文献解題データベース

『経済史文献解題』は、主に日本で出版された社会経済史・経営史と関わりのある著書・論文の文献解題であり、数十名の研究者の協力を得て編集されています。

日本経済史研究所が開所した1933（昭和8）年、月刊誌『経済史研究』に掲載された文献解題の1年分をまとめた『経済史年鑑』が出版されました。1957（昭和32）年には『経済史文献』に改称され、1960（昭和35）年から大阪経済大学日本経済史研究所編『経済史文献解題』として継承され、以後毎年作成されてきました。

2003（平成15）年には、文部科学省のオープン・リサーチ・センター事業に選定され、データベース化の取り組みが始まり、Webでも公開しています。2021年8月にはリニューアルを行いました。

◆ 『経済史文献解題』データベース

<https://bkaidai.osaka-ue.ac.jp/>

採録件数：論文 101,819 件、図書 54,739 件（2021年8月現在）

4. 経済史研究会

1年に4回、4月、6月、10月、12月の土曜日に開催している研究会です。社会経済史、経営史の専門家による研究報告と出席者による自由な討論を行います。戦前に行われていた「経済史研究会」が1995年に再開されて以降、20年以上継続して開催されています。

<https://www.osaka-ue.ac.jp/research/nikkeisi/activity2/>

5. 『経済史研究』

1929年7月に京都で組織された経済史研究会が同年11月に創刊し、1933年3月からは、京都に開設されていた日本経済史研究所が発行を引き継いだ、わが国最初の経済史専門の学術誌です。戦前は月刊で発行されていましたが、1945年1月の第178号で終刊を余儀なくされました。

しかし、戦後、大阪経済大学に移った日本経済史研究所によって、1997年に装いも新たに年刊として復活しました。2007年からは査読体制を整えて投稿論文の受付も始まりまし。多様性に富む良質な論考を掲載する学術誌として、着実に存在感を高めています。

<https://www.osaka-ue.ac.jp/research/nikkeisi/lab/>

6. 公開講座（黒正塾）

研究所の創設者の一人であり、大阪経済大学初代学長である黒正巖博士の名前を冠して名づけられた公開講座です。春季歴史講演会、寺子屋、秋季学術講演会があります。広く地域に開かれた活動として毎回多くの方に参加いただき、好評を博しています。

◆春季歴史講演会

2003年5月、研究所開所70周年記念として、歴史作家の津本陽氏を講師にお迎えし、「歴史小説にみる経世済民」と題して、本学A館フレアホールにおいて講演会を開催しました。以来、毎年5月に著名な作家や研究者を招き、史実に基づいた歴史について講演会を開催しています

<https://www.osaka-ue.ac.jp/file/general/27984>

◆寺子屋

1999年から毎年夏季に開催しています。当初は、今まで古文書や古い史料にほとんど接したことのない方のために、実際の史料にあたって読み方を説明しながら、経済史や経営史を学ぶというスタイルで開催されていました。現在は、共通のテーマについて通常3回シリーズで、複数の研究者や企業人などがそれぞれの立場・観点から行う講演を通じて、経済史や経営史、あるいは様々な歴史を学ぶスタイルになっています。

<https://www.osaka-ue.ac.jp/file/general/27984>

◆秋季学術講演会

共通のテーマについて通常2回シリーズで、複数の研究者がそれぞれの立場・観点から講演を行い、経済史や経営史、あるいは様々な歴史について理解を深めていただくことを目指しています。

<https://www.osaka-ue.ac.jp/file/general/23662>

7. 問い合わせ

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8

大阪経済大学 日本経済史研究所

FAX. 06-6327-1373

e-mail : [nikkeisi\[at mark\]osaka-ue.ac.jp](mailto:nikkeisi@osaka-ue.ac.jp)（[at mark]を@に修正してください）

web : <https://www.osaka-ue.ac.jp/research/nikkeisi/>

map : <https://www.osaka-ue.ac.jp/profile/facility/>

日本経済史研究所はマップにおける⑦G館3階にあります（2021年8月現在）。

以上